

さつきだより



- 株式会社アミックビジネスコンサルティング
- 税理士法人アミック＆パートナーズ
- 社会保険労務士法人アミック人事サポート
- 株式会社アミック総研
- アミック行政書士事務所

〒321-0151 栃木県宇都宮市西川田町928-1 TEL:028-908-4411 FAX:028-645-1000

『生き生きと働く職場』

円安の影響による原料やエネルギー価格の高騰、株価の下落など私達の身近な環境が変化し始めました。バブル崩壊から長い間のデフレ環境が私達の身に染み付いてしまい、いつの間にか物価上昇や賃上げ環境を経験したことのない国民が大多数になっています。企業は価格改定を機に従業員の賃金アップ・待遇改善（人的資本）を進め、デフレ経営からの脱却を進めるべきではないかと思います。

日本の職場が元気を失った原因は生産性の低さです。労働生産性は主要7カ国（G7）中で最も低く、仕事に対する熱意を示す「エンゲージメント」指標でも下位を低迷しています。これを改善するには、賃上げとデフレ脱却、人的資本を重視して経営を変化させなければなりません。企業価値を決めるのは有形資産だけでなく、無形資産も重要です。無形資産の中核は人財です。活気に満ちた職場にするためには、働く人を「やらされる感」から解き放つことが大切です。

多くの企業は、激しい価格競争に直面し20年以上にわたり低価格路線を歩んできました。経営者にもデフレ思考が染み付いてしまい、低価格と所得低迷の悪循環に陥っています。値上げには大きな壁もありますが、賃金が上がらない限りデフレ脱却はできないと思います。今こそ消費者が納得する形で値上げを実施し、従業員への還元を実施しなければ日本経済は更にじり貧に陥ってしまうと危惧します。

人口減が深刻になる中で、待遇改善をより一層進めないと優秀な人財も集まりません。

社員が「生き生き働く会社」は成長し、そうでない会社は伸び悩む。「利益を生み出す源泉は人だ」という当たり前のことを見直すと同時に、産業全体で付加価値重視の価格戦略へ転換を進めなければ、悪循環は断ち切れないと思います。早く悪循環を断ち切り日本を再生しなければと思います。経営者やリーダーは、職場が活気づいているか沈滞しているかを常に自問し、改善に努めなければなりません。

税理士法人 アミック＆パートナーズ 代表社員 今井 博

「私のおすすめ」

【自動化経営の教科書】

Robotic Process Automationという言葉に馴染みが無くても、「RPA」と言えば聞いたことがある人が多いのではないかでしょうか？数年前から認知度が高まり、実際に取り組む企業も増えてきていると思います。この本は私の友人が執筆したのですが、RPAを実際に導入・支援した際の内容が書かれています。単純な事務作業を人間ではなくロボットに実行させることを中心に考えがちですが、事業承継や世代交代を機に導入して業務の「仕組み化」や「脱・属人化」を図るケースもあるようです。RPAの技術的な側面だけでなく、企業としてのプロジェクトの進め方という点でも参考になる内容が多かったです。

10年後には学校でプログラミングを学んだ若者たちが社会に出てきます。その人たちに良い仕事をしてもらうためにも、今できることを頑張らないといけないと考えさせられました。（文：小宮山）

当社サイトでは税制改正や各種セミナー情報、職員ブログ等の様々なコンテンツを取りそろえています。

<http://www.amic-co.info>もしくは、右QRコードより是非ご覧ください！！



8
月号